

なぜこんなにも苦しいマラソンに私たちは挑んだのか・・・

- ・そもそもなんで走らなくてはいけないのか。
- ・苦楽で言えば「苦」。そんな苦しみを何故。
- ・走れば何か貰えるのか。



月間から旬間に規模縮小されたマラソン期間でしたが、答えは見つかりましたか？
私たちの学区内には、伝統的な「長野県縦断駅伝」のコースが通っています。中継映像の中に見慣れた景色などが映し出されます。残念ながらコロナ禍にあって昨年度の 69 回大会、今年度の第 70 回大会は中止となりましたが、二日間かけて長野県を北から南へ 22 人で襷リレーして 200 km 以上を走りぬく競技です。第二区間の一部では私たちのふるさと稲荷山の街中、荒町、中町、本八日町、上八日町、治田町を駆け抜けていきます。68 回大会の際、私は松屋紙店前の交差点で眼前を駆け抜けていく選手の皆さんにエールを送りました。

本校のマラソン大会にも、歴史と伝統があります。開校 30 周年記念にあたる平成 13 年（2001 年）にはバルセロナ・オリンピック銀メダリスト、アトランタ・オリンピック銅メダリストの有森裕子さんを講師にお招きして、講演をいただき児童と一緒にランニングもされています。マラソン大会は「駅伝形式」で開催されていたこともありましたが。第一回マラソン大会は平成元年（開校 18 年目）の 12 月 9 日、雪模様の中開催されています。「は・る・た」の「た」は、「タフ」の「た」、子どもたちには、逞しく育ってほしいと思います。

※ マラソン大会（記録会）での子どもたちの走りにあらためて拍手を送るとともに、保護者の皆様の応援、来校方法へのご配慮、大会運営へのご協力に感謝いたします。

開校 50 周年「記念誌」。鋭意制作中。第二回校正終了

学校の歩み、記念事業の記録でもある記念誌の編集が記念誌発行実行委員会（PTA 教養広報部、支部長会）の皆様の手により進められています。現在第二回校正作業が終了いたしました。一月に最終校正、二月に完成の見込みです。



第一稿から第二稿へ



「四季の会」の皆様には、今年もお世話になりました。



ボランティア活動の制限がかかった昨年は、本校で20年以上にわたり読み聞かせボランティア活動に取り組んで来られた「四季の会」の皆様方にも、厳しい年でした。本年度も第5波の到来により活動見合わせの時期がありましたが、感染レベルの低下に伴い、朝の活動時間帯での教室単位での「読み聞かせ会」が復活いたしました。時間にしてわずか10分間の「読み聞かせ」ですが、聞く力、考える力、想像する力など学力の基盤となる素地が培われているように思います。11/26（金）の2,3年対象の読み聞かせ会が今年度の最終回となりました。ありがとうございました。マスク生活が続く中ですが、四季の会の皆様、来年度もよろしくお願いいたします。

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。

Google フォームを用いた回答へのご理解とご協力を賜りありがとうございました。学習指導（家庭学習も含む）の在り方、児童への接し方、怪我などの対応で見直すべき点、改善すべき点をご指摘いただきました。適切な教育指導、学校運営に努めてまいります。また「その他お気づきの点」として集団下校の要望を3件いただきました。「不審者情報」に対する不安などの理由が記載されておりました。極力、学年単位での小集団下校に努めておるところです。また「西部駐在所」に下校時間帯の地域内巡視を、あらためてお願いいたしました。

また次のようなご意見もいただきました。

「学校で飼っているうさぎが可愛そうです。子供たちも義務的に当番をしているだけな気がします。もう飼わなくてもいいのではないのでしょうか？」



うさぎの「バニラ」は治田小で10年以上飼育されています。ギネス記録が10歳10か月だそうですから。もしかしたら世界一の長寿兎かもしれません。

昨年教室用クーラーの排熱機が中庭に設置され、うさぎ小屋付近の温暖化が激しくなり、コンクリートに這いつくばって身体を冷やしている姿を多く見かけました（写真）。先輩方から受け継がれてクラス単位での当番制により、全校で世話をしています。休日等も含まれますので、多くのご家庭、保護者の皆様にもご負担をおかけしています。糞尿の処理、毎日の食事の心配など、一つの命をもつ生き物を飼うには、大変な責任が伴います。ご理解、ご協力をお願いします。